

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【慈恩寺中学校】

学力向上
アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策	
重点的に育成する 資質・能力	基礎学力の定着を図るために繰り返し実行する力	
↓		
実施する学力向上策 【時期・頻度】	①授業内での反復(解く・書く・説明する)の機会を意図的に増やし、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る。【毎時間】 ②「なぜ・どのように」を問う発問や説明活動を繰り返し設定し、思考力・判断力・表現力を活用する授業改善を推進する。【毎時間】 ③授業と家庭学習を連動させた学習の繰り返しを習慣化するとともに、定期テスト前の計画表づくりを通して、学習習慣の確立を図る。【毎時間】 ④「分かった・できた」という成功体験を授業内で繰り返し積み重ね、教科好きの割合向上を図る(教科好き大作戦の推進)。【毎時間】	

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修会
↓		
今年度の成果と 次年度の課題	結果提供(2月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一步)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	・国語は、昨年度と比較すると知識・技能をみると問題に改善がみられたが、思考・判断・表現の項目に課題がある。 ・数学は、昨年度と比較すると思考・判断・表現をみると問題に課題がみられた。	
	結果から考えられる 児童生徒の実態	

・国語は、知識・技能の「情報を読み取る事項」、思考力・判断力・表現力の「話すこと・聞くこと」に課題がみられる。
・数学は、「数と式」の領域に改善がみられたが、「図形」と「関数」の領域には課題がみられた。
・「国語の勉強が好きだ」という質問について、「当てはまる」「どちらか」として回答した生徒の割合が高く意欲的に学習している。
・「英語の勉強が好きだ」という質問について、「当てはまる」と回答した生徒の割合が前回の調査よりも増加している。

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	さいたま市学習状況調査(令和7年度)結果分析(管理職・学年主任等)結果分析(学年・教科担当)結果共有(児童生徒の実態把握)結果提供(2月)	
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業	

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	学力向上策①～④を実施することができている。特に国語と数学に関しては、思考力・判断力・表現力を向上させるよう授業改善を行っている。
	B	
↓		
学力向上策の 見直し	(変更なし)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一步)

教育研究所